

【質問項目 (抜粋)】

- ▶ 「みどり豊かな住まいのみやこ」を実現するためのみどり政策とは
- ▶ プラスチックごみの蛇口を閉める対策について
- ▶ 公民連携プラットフォームの活用について
- ▶ 猛暑日の避難所の空調設備について
- ▶ 公共調達における熱帯材の使用基準について
- ▶ リユース容器・エコマップについて
- ▶ 歳出25億円の清掃一部事務組合分担金等の使途について
- ▶ 小中学校のGHP (ガスヒートポンプ) とEHP (電気ヒートポンプ) について 他



令和7年第1回定例会一般質問

【行政視察】

- ▶ 7/12 仙台市 市街地街路樹の視察
- ▶ 10/24 横浜市サーキュラーエコノミーPlus
- ▶ 10/25 茨城県守谷市グリーンインフラ政策 (都市環境委員会合同)
- ▶ 12/17 東京外かく環状道路 本線トンネル 北行東名工事現場 (東名JCT)

【所属委員会】

- ▶ 都市環境委員会
- ▶ 道路交通対策特別委員会
- ▶ 消防団運営委員会



7/12仙台市街路樹視察



ゼロカーボンのまち、杉並へ

ブランチャー明日香

杉並区議会議員 緑の党グリーンズジャパン

カワセミ通信

VOL.6 (2025.3.25 発行)

令和7年度(2025.4-2026.3)、岸本区政3度目の当初予算 賛成多数で可決！

2,456億300万円

前年度比+10.2%

増加の理由：学校改築などによる投資事業の増・児童手当支給経費や保育関連経費などの既定事業の増

NEWS UPDATE 善福寺川調節池事業について

1/22に都市計画事業認可が告示された善福寺川上流地下調節池整備について、区民側では要望書提出や専門家会議が開かれる中で、3/17杉並区予算特別委員会にて土木部長は、「**工事契約は令和7年度末と予定されている。**区としては、3/12に提出された**区民からの要望書の事項を含めて**、工事契約前の1年間を有効活用したい。都に対しては、情報開示や区民への丁寧な説明の場の創出を求めていくと共に、区が協定締結している専門家の協力を得ながら、流域での浸水被害の低減をグリーンインフラの活用を含めて、都の事業と両輪で進めていくことに取り組んでいく」と答弁しました。

明日Cafe「区政報告会」のご案内

区政報告会のご案内
4/6(日)16:00-18:00
西荻地域区民センター
第2集会室

4/12(土)16:00-18:00
西荻地域区民センター
第3集会室



お申し込み
フォーム

外環道 議員有志で国・事業者へ要請

外環道のシールドトンネル工事が、2025年8月お盆明け頃杉並区内に到達する見込みが示されたことを受け、議員有志23名で、国・事業者に対して、「相談コーナーを区内に設置すること・情報の透明性確保に努め、地元説明会を開催すること」を求めました。区は実現に向けて協議を行う意向を示しました。

杉並区議会初の懲罰動議提出

2/19杉並区議会田中ゆうたろう議員が一般質問で演台を叩いた行為に対して、2/21、区議有志21名から地方自治法に基づく「懲罰動議」が提出されました。それを受け、3/18に懲罰特別委員会(委員12名)が開催されました。今後、第二定例会まで複数回委員会が開催される流れとなります。



ブランチャー明日香

2023年5月より杉並区議会議員
緑の党グリーンズジャパン所属
長崎県出身。カナダオンタリオ州立ヨーク大学
社会人類学部卒業。
☎ 090-8487-5406 (事務局)

公式サイト▼



区民のいのちとくらしを守る持続可能で財政安定性を確保した予算を編成した岸本聡子区長。2月には「**ジェンダー平等審議会**」をスタートした杉並区。今定例会で、「**杉並区子どもの権利に関する条例**」「**杉並区いじめの防止等に関する条例**」が可決されました。

当初予算の
主な政策

■防災・防犯

- ▶ 防災・防犯用品カタログギフトを全世帯に配付：保存版のマニュアルとして活用

■区民参加型予算「防災XOO」

- ▶ 井草森公園に「ソーラー園灯」を設置
- ▶ LEDソーラー街路灯給電スポットを駅前広場に
- ▶ 水害対策にグリーンインフラを活用：桃井原っぱ公園で体験型ワークショップの実施・雨庭の効果測定のための機器の設置

■子どもの居場所づくり：

- ▶ 児童館再編の取組の見直し・25カ所の児童館の存置・児童館がない7中学校区に新たな児童館整備を検討・児童館のうち7館を「中・高校生機能優先館」へ
- ▶ 小学生の居場所の充実・小学校内で実施する放課後等居場所事業を全小学校に拡充 他

■はたらく

- ▶ 区の情報インフラを再構築 エンゲージメント調査の実施
- ▶ ハラスメントゼロに向けた取組：外部相談窓口を新規設置

■介護

介護サービス人材の資格取得の全額助成

■住まい

- ▶ 家賃助成制度：区営住宅の抽選に落選した低額所得のひとり親や多子世帯 助成 1世帯あたり年間30万円・転居費用助成低額所得者 助成 単身世帯に15万円、2人以上の世帯に20万円

■人権・多様性

- ▶ 「やさしい日本語」、日本語教室の拡充、行政情報の多言語化

予算を1万円と
換算すると？

杉並区HPより抜粋

	議会費 / 44円 区議会の運営のために
	総務費 / 638円 広報、区民相談のために
	生活経費 / 562円 産業振興、消費生活、区民施設、地域活動のために
	福祉 / 5,925円 福祉の充実、健康を守るために
	都市整備費 / 839円 公園整備、道路管理、まちづくりのために
	環境整備費 / 457円 環境保全、清掃、リサイクルのために
	教育費 / 1,381円 学校教育の充実、生涯学習のために
	公債費 / 141円 特別区債の償還のために
	その他 / 13円 子償費等のために

※職員費は各費目に振り回しています。

杉並区の**ゼロカーボン・みどり政策**は、着実に前進しています。▶次ページにて、「令和6年度、ブランチャー明日香 議会活動ダイジェスト」と杉並区施策の進捗をご紹介します！

令和6年度(2024.4-2025.3)、



ブランシャール明日香

議会活動ダイジェスト！

任期2年目、ひとり会派、緑の党グリーンズジャパンとして、
みどり、エネルギー、循環型社会、など
気候変動政策を横串にして、全議会と委員会で質問に立ち、
区の環境政策に貢献することができました。

グリーンインフラ杉並区民会議 (GIAS) 区と住民の協働事業を全面応援！

2024年5月、「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」
地域共創拠点チームと連携協定を締結！すぎなみボイスを通じ
て、グリーンインフラを知り、実践する区民との協働の場を
次々と生み出しています。



柏の宮公園にて雨庭づくり



国交省のグリーンインフライメージ

「みどりの基本計画改定」 に待った！！

2024年6月の一般質問にて、「みどりの基本計画改定」は
年度内改定にこだわらず検討を重ねるべきと指摘。区民の
意識と知財と情報という資源を生かし、みどりの条例、ま
ちづくり条例の改定も見据えてじっくり議論を重ねてほし
い」と要望。
→グリーンインフラ事業や
気候区民会議の提案を活かすため
計画改定を令和7年度末(2026.3月末)へ延期

おうちの屋根や駐車場に に太陽光を→再エネ利用促進区域制度 2025/4/1より施行！

建築物への太陽光パネルなどの再エネ利用設備の
設置を促進するため、建築士から建築主への説明
義務や建築主の再エネ利用設備設置の努力義務、
区市町村の情報提供等の支援に関する努力義務、
建築物の特例許可が発生します。



ソーラーカーポートや
屋根置きパネルが
がつけ易くなるよ！

めざせ！区有施設の100%再エネ化→ 小中学校63校ほか全施設の 約65%が再エネ電力に切り替え決定！

杉並区は昨年8月、選定委員会で決めた区の再エネ
100%の方針策定を決定。結果、競争入札により令和
7年度は全ての小中学校の電力を再エネ化とコストダ
ウンを実現しました。電力選定に対して区が協議
する仕組みを整えたことは画期的！

暑すぎる最上階教室をなんとか して！→小中学校の最上階天井断熱 改修 26室に拡充！

杉並区の最上階普通教室362教室のうち、
80教室を3年計画で順次断熱改修決定！来年度
の26教室(予算6500万円)は中でも特に暑
かった教室を優先。文科省の
学校施設環境改善交付金を使用。



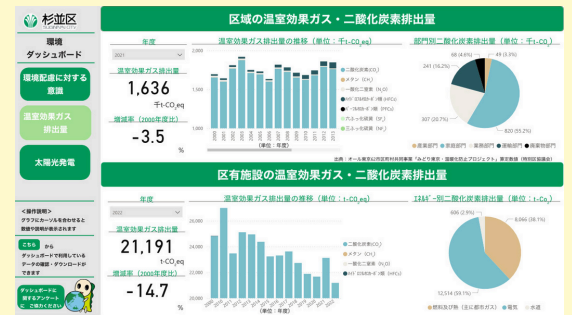
市民運動から足かけ3年応援 →2024年3~8月に気候区民会議実現！ 3/20シンポジウムで脱炭素社会実現へ 向けて新たなスタート

エネルギー・交通・循環型社会・みどり、の4つのテーマで
熟議した気候区民会議の報告シンポジウム(3/20)



オープンデータを活用して気候対策進捗 の見える化を→環境データが可視化！

杉並区HPリニューアルに伴い、環境ダッシュボードで、
区の温室効果ガス排出量などが見える化。オープンデータ
で情報を共有できるようになりました。



第7次エネルギー基本計画改定に 杉並区議会として国に意見書提出 24:23、1票差で可決！！

少数会派6名連名で「国際社会と将来世代に1.5℃目標の責任を果たす
第7次エネルギー基本計画改定を求める意見書」議員提出議案を議会
に提出。第3回定例会で都市環境委員会に付託され、「継続審査」とな
ったのち、第4回定例会で可決。全国では小金井市、埼玉県吉川市に
つづき、杉並区が議会から意見書を提出しました。



「住まいは人権」「エネルギー貧困」の 視点から要望→ 区営団地10室に窓断熱改修！

2025年3月に都営住宅の移管を受けた住宅におい
て、10室でモデル的に内窓設置工事を実施し、その
効果を検証します。改修後は真夏日以上の外気温の
日を選んで、室温測定を実施します。



「ゼロカーボンシティ杉並」 実現に向けて、一步一步 進んでいます！

過去の議会の動画は、杉並区議会録画
配信、または議事録でご覧頂けます。

